

日本陸軍 『各部隊文庫図書目録』 —帝国軍隊の読書装置

軍隊内では、一体どのような書物が読まれていたのだろうか。

軍における読書に関する研究は、
そこでおこなわれた将兵たちの営みを明らかにすることにつながる。

近代日本における軍隊と読書の関係を明らかにするための
格好の資料となるだろう。

推薦文 軍隊内での読書・教育・研究が浮かび上がる資料

中野 綾子（なかの あやこ／明治学院大学）

軍隊内では、一体どのような書物が読まれていたのだろうか。帝国の拡張と共に、「外地」へと日本語書物が送られていったことは、金沢文圃閣による復刻資料「書誌・出版史・書物メディア史のシリーズ」に所収される『帝国日本の書籍商史—人物・組織・歴史』（2017—2018）からもわかる通りである。そして「外地」における日本語書物の販売先となったのが、そこに暮らす軍人や軍属であった。

軍隊内で流通する書物は購入されたものに限らない。たとえばアジア太平洋戦争下においては、学術研究や軍隊内教育のために書物が必要とされ、占領地の図書館を接收し、さらには将校向けに軍隊内に文庫を設置することもあった。一方で、陸軍では『陣中倶楽部』（大日本雄弁会講談社）、海軍では『戦線文庫』（興亜日本社）といった慰問雑誌が兵士たちへ配布され、娯楽や教育としての役割を果たしていた。いわば、軍隊内は、様々な日本語書物が読まれる場でもあったのである。講談社は、第一次世界大戦時の主にアメリカとイギリスにおける軍隊内の読書状況の調査をおこない、今後は学術研究や教育のための書物と娯楽のための書物が必要とされるとまとめている（『精神弾薬の威力：欧州大戦と雑誌読物の調査』、1938）。こうした娯楽、研究教育のために利用された軍隊内の書物の調査研究は、利用者の日記や刊行記事に頼る面が大きく、現物資料や目録の発見が大いに必要とされる場所である。

さかのぼって明治になると、参謀本部による『陸軍文庫図書目録』（1894/1908）に陸軍文庫に納められる和漢書を確認することができるが、具体的に各部隊間での図書利用の様子を知ることにはなかなか難しい。その点で、1910年ごろにおける宇都宮、熊谷、佐野連隊などの陸軍における『各部隊文庫図書目録』の復刻である本書は、大変貴重なものであると言えよう。日清日露戦争を経て数年、幸徳秋水らが逮捕される大逆事件がおり、韓国併合がおこなわれ、ナショナリズム高まる帝国日本の軍隊内において、何が読まれ得たのかを一覧にして確認することが可能となったのである。

『各部隊文庫図書目録』に付随して、「文庫規則抜翠」や「各部隊備付図書回覧規定抜翠」が含まれており、将校を中心に学術研究や教育のために閲覧・貸出がおこなわれていたこと、さらに図書の閲覧や貸出方法が確認できる。さらに目録は、「軍事」や「戦史」、「普通」「伝記」「教養」など項目ごとに分かれて記載される。

軍における読書に関する研究は、そこでおこなわれた将兵たちの営みを明らかにすることにつながる。本復刻は、メディア史研究、近現代史研究、近代文学研究、戦争社会学、教育学、図書館学など、多様な領域を横断して、近代日本における軍隊と読書の関係を明らかにするための格好の資料となるだろう。

陸軍士官学校生徒集会所 圖書閲覧室

Kanazawa bumpokaku

金沢文圃閣

ハンディでリーズナブルながら内容は置換えのきかぬ
ここでしか見られない価値が詰まったシリーズ

【書物史誌コレクション 2】

日本陸軍 『各部隊文庫図書目録』

(室覧閣書圖)

所會集徒生校學官士軍陸

全1巻
編集復刻版

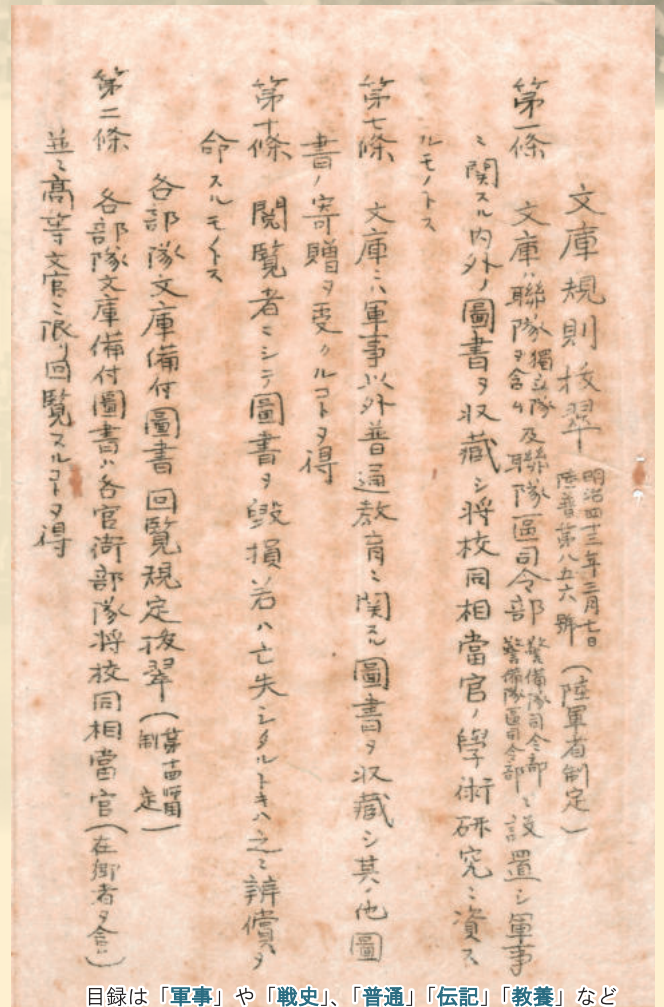
—帝国軍隊の読書装置

「各部隊文庫図書目録」に付随して、
「文庫規則抜翠」や「各部隊備付図書回覧規定抜翠」が
含まれており、将校を中心に学術研究や教育のために
閲覧・貸出がおこなわれていたこと、
さらに図書の閲覧や貸出方法が確認できる。

メディア史研究、近現代史研究、近代文学研究、
戦争社会学、教育学、図書館学など、多様な領域を横断。

近代日本における
軍隊と読書の関係を明らかにするための
格好の資料

室習自徒生 校學官士軍陸



目録は「軍事」や「戦史」、「普通」「伝記」「教養」など
項目ごとに分かれて記載される。

編—金沢文圃閣編集部

推 薦—中野 綾子 (明治学院大学)
造 本—A5並製・総140頁
定 価—8,000円+税
刊 記—2019年11月 ISBN978-4-909680-55-6

全一巻

『各部隊文庫図書目録』 [1910年頃]

附録資料

「文庫規則抜翠／各部隊文庫備付図書回覧規定抜翠／宇都宮連隊区司令部文庫事務細則抜翠 (1910年3月7日)」
([『各部隊文庫図書目録』 [1910年頃])

「佐倉連隊区司令部文庫規定摘要／佐倉連隊区司令部文庫図書目録」([『明治四十三年 来翰並要書綴』 1910年)

*総目次細目、推薦文



Kanazawa Bumpokaku

金沢文圃閣

〒920-0867 金沢市長土塀2-16-30
Tel 076-261-8884 Fax 233-3111

□書店様へ…ありがとうございます
直接小閣までお申し込みください

図版はすべて本書より
価格は税別 050/11/4000

シリーズ既刊本のご案内

【書物史誌コレクション 1】

『文藝同人雑誌出版マニュアル—戦前版』

【全1巻】

編・解題—小林 昌樹 (国会図書館司書)
定 価—6,000円+税

